

テーマ名:

健康診断施設における画像診断の効率化に寄与する遠隔読影サービスの提供事業

事業計画の概要:

健康診断の画像遠隔読影システムを進化させた事業。インターネット回線を使った在宅放射線科専門医による画像読影システムにより健診結果提示までの時間を短縮(従来の1/5)するサービス。

新たに開発した読影新技術(読影エキスパートシステム)により健康診断施設を主ターゲットとし他社が行わない単価の安い読影も可能。

遠隔読影とは、CT、MRI、CRなどの画像をインターネットVPNを通して放射線科専門医により、遠隔の医療機関、専門医の居宅で読影を行うこと。

連携参加者:

コア企業:(株)イー・メディカルソリューションズ(愛知県豊明市:医療用機械器具卸売業)

連携企業等:放射線科・名古屋広小路クリニック、(有)アドミクト、(株)グローバルビジョン

連携体の構成

販売

コア企業:(株)

イー・メディカルソリューションズ

- ・医療画像遠隔読影システムの構築。
- ・遠隔読影の依頼を受けるとともに管理システムを販売。

専門医の開拓・組織化、作業進捗管理

放射線科・名古屋広小路クリニック

- ・放射線科専門医の組織化、在宅医への読影作業の配分、作業の進捗管理。

協力企業

東芝メディカルシステムズ(株)

- ・読影に関するハード及びソフトウェアの提供

IT導入ノウハウ

(有)アドミクト

- ・健康診断施設へのIT化提案、コア企業に対する営業支援及びビジネスモデル支援。

システム開発

(株)グローバルビジョン

- ・健康診断遠隔読影技術の開発、改修。

協力機関

名古屋大学医学部
附属病院放射線部

- ・放射線科専門医の紹介、研修、指導など

連携の特徴

- ・医療機器卸売業を営むコア企業が放射線科の権威である広小路クリニックの協力を得て実現する事業。
- ・結婚等で勤務医をやめた医師を在宅医として有効活用することで専門医不足を解消!

新事業

- ・健康診断施設から送られた検診画像をインターネット回線により在宅医が遠隔読影するサービス。
- ・画像そのものは送受信の必要がないため、経路の覗き見、改ざんのない安全なシステムにより運営。新システムにより従来の5倍の効率化を実現。

市場性

- ・「一日人間ドック」の利用者増、診断結果報告の短期ニーズなどから健康診断施設向けに営業展開を行い、2010年度には東海4県下の健診優良施設市場の20%以上の占有を目指す。

支援予定メニュー

- 新連携対策補助金(事業化・市場化補助金)等



(右図)画像診断実施現場